



伊藤忠兵衛記念館の紹介を含む豊郷町観光協会のホームページはこちらから



総合商社「伊藤忠商事」と「丸紅」の創設者、初代伊藤忠兵衛翁の旧宅が豊郷町八目の地に、中山道に面して建っています。建物は、1880（明治13）年初代忠兵衛翁が38歳の時に建てたもので、6年後に2代忠兵衛氏がこの家で生まれました。

これまでの文化、制度、生活様式が変わり、国家として大変革を遂げた明治時

■ 伊藤忠兵衛記念館（豊郷町）

明治期のビジネス拠点



代に、ビジネスの拠点として活躍しました。駆け抜けた時代とともに役目を終え、しばらく空き家になりましたが、2002年に初代忠兵衛翁の100回忌を記念して、建物を整備し、伊藤忠兵衛記念館としてよみがえりました。

館内には、母屋の他に蔵が3棟あり、現在展示室として見学施設になっています。庭園には、実際に使用できるお茶室もあります。土間や炊事場の黒褐色の梁や柱、つるべの残った井戸、煙ですすけた天井、また「明治42年新調」と八重夫人が書き残したおけの数々を見ますと、当時の活況



①伊藤忠兵衛記念館の表門
②正面玄関入って右が「店の間」＝いずれも豊郷町八目で

ある伊藤家の日常生活を感じることが出来ます。当時、初代忠兵衛翁は大阪の店で寝泊まりしており、豊郷の家は八重夫人が守りました。伊藤商店（当時）の評判を聞きつけ、多くの入店希望者があり、この家で寝食を共にして八重夫人から商売や礼儀作法について学びました。合格して、初めて大阪の店へ入店することができたのです。商品の仕入れ発送から、配達人のお弁当まで夫人が担当しました。大阪の店員が食べる米、みそ、漬物の準備も夫人の仕事でした。漬物の重しの石も30程残っていますので、ぜひご覧

ください。

初代忠兵衛翁と夫人が二人三脚で働き、また店員もよく応え、頑張ったことが分かります。

同館は公益財団法人豊郷済美会が運営・管理しています。同法人は2代忠兵衛氏が1918（大正7）年に母八重さんの古希を記念して、地元自治の発展のため設立しました。

初代忠兵衛翁が座って庭園を眺めた縁側に、皆さまも座られて庭園を眺めるのはいかがでしょうか。お待ちしております。

（豊郷町観光協会・野村惣）

【アクセス情報】伊藤忠兵衛記念館は近江鉄道豊郷駅から徒歩5分。月曜休館。見学無料。同館 0749（35）2001



これまでの「しが旅のススメ」はこちらから



しが旅のススメ

